

意見書案第4号

平成26年 6月19日

白老町議会

議長 山本浩平様

提出者

白老町議会議員 吉田和子

賛成者

白老町議会議員 大淵紀夫

白老町議会議員 小西秀延

TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書（案）

標記の意見書を別紙のとおり、白老町議会会議規則第8条の規定により提出いたします。

## TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書（案）

TPP交渉については、本年2月～4月にかけて閣僚会合や首席交渉官会合が断続的に開催され、4月24日には日米首脳会談も行われましたが、多くの分野において主張の隔たりがあり、「大筋合意」には至りませんでした。日米間において着実に合意に向けた協議が進んでおり、予断を許さない状況が続いています。

TPPは農業だけの問題ではなく、国民一人ひとりの暮らしや地域社会の将来に極めて大きな禍根を残す問題であり、国民的議論のないまま交渉を進めることは、決して国益にかなうものではありません。

このため、多くの国民や道民、地方議会と自治体首長は、TPP協定交渉への参加に反対・慎重な対応を強く求めてまいりました。

つきましては、TPP交渉に係る衆参農林水産委員会決議の遵守等に関して、下記のとおり要請いたします。

### 記

- 1 政府は平成25年4月の衆参両院農林水産委員会における決議「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉参加に関する件について」を遵守するとともに、決議が遵守できない場合は、TPPから脱退すること。
- 2 EPA・FTA等のすべての国際貿易交渉において、重要品目等の関税等、必要な国境措置を維持するとともに、特に日豪EPA交渉については、平成18年12月の衆参両院農林水産委員会における決議「日豪EPAの交渉開始に関する件」を遵守すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成26年 6月 日

北海道白老郡白老町議会議長 山本 浩平

（提出先）内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣府TPP担当大臣、農林水産大臣、  
外務大臣、経済産業大臣